

主な指定管理者

施設名称	団体名	募集
おろち湯ったり館	雲南都市開発（株）	非公募
道の駅さくらの里 きすき	さくらの里（株）	非公募
深谷温泉ふかたに荘	深谷温泉振興対策 協議会	公募
波多温泉 満壽の湯	波多コミュニティ	非公募
チェリヴァホール	（株）キラキラ雲南	非公募
ラメール	（株）キラキラ雲南	非公募
アスパル	（株）キラキラ雲南	非公募
古代鉄歌謡館	（株）キラキラ雲南	非公募

※その他、各地区の集会センター・生活改善センター、農村公園など 52 件の施設があります。

議会
報告
瑞風

発行人 中林たかし

中林たかし事務所
雲南市加茂町神原 838
電兼 FAX 49-6373



十二月定例会開会

平成二十九年十二月定例会が十二月八日から二十二日まで開催されました。八日の市長市政方針演説に続き、十一日からは十一名の議員が一般質問を行いました（中林たかしの一般質問は裏面）。本定例会の主な議案は、教育委員会委員（大場篤氏）の任命、人権擁護委員候補者（奥井満氏）の推薦、一般会計補正予算や国民健康保険事業特別会計補正予算、職員給与などに関する条例改正案と関連する補正予算などです。

職員給与は人事院勧告に基づき、四月にさかのぼって月額平均 0.2% 引き上げるものです。給与引上げ分の二千九百三十五万を加えた補正予算の総額は、三億七千四百三十五万円となりました。

その他、公の施設の指定管理者の指定について質疑、議決しました（左表（参照））。

また、本会議中およびその前後には総務、教育民生、産業建設の各常任委員会が開催され、それぞれ所管事項の審議を行っています。各常任委員会で審議された主なものは次の通りです。

常任委員会	主な案件
総務	・平成30年度当初予算編成 ・公共施設等総合管理計画
教育民生	・健康づくり拠点整備事業 （B & G加茂海洋センター改築）
産業建設	・中心市街地活性化事業 ・清嵐荘改築整備事業

案件の論点
・平成30年度当初予算編成
・大型プロジェクトが財政に及ぼす影響
・健康づくり拠点整備事業（B & G改築） プログラムの決定、収支見通し
・中心市街地活性化事業
・ホテル誘致の見込
・清嵐荘改築整備事業
・度重なる増額予算、施設内容と収支

雲南市民中国訪問団

十一月二十七日から十二月一日までの五日間、藤井副市長を団長、難波幸夫雲南氏遺族会会長を副団長とした雲南市民中国訪問団（十一名）が中国東北部の撫順戦犯管理所、平頂山惨案記念館などの戦時関連施設を訪問されました。

一員として参加された舟木清氏（加茂町）のお話によれば、戦争の悲惨さを改めて思い起こすとともに発展を続ける大国・中国との相互理解、未来志向での交流の拡大が大切とのことでした。

戦後七十余年を経過し、戦争体験者が少なくなりつつある中、平和の大切さを訴え続けるとともに、一带一路構想を掲げ経済

発展の著しい中国とは新たな両国関係を築きあげていかなければならないと感じました。



平頂山惨案記念館で訪中団一行
（写真提供 舟木清氏）

雲南市総合社会福祉大会

平成二十九年年度雲南市総合社会福祉大会が十月十三日、チェリヴァホールで開催されました。本年度、百歳を迎えられ方（二十五名）に対し内閣総理大臣から祝状（代読）が贈呈されました。このうち榎原夏江さん（加茂町）、熱田義一氏（大東町）ほか二名の方が授賞式に臨まれました。

引き続き、百一歳を迎えられた方（十五名）に対し雲南市長長寿者表彰が速水市長より贈呈されました。岸本キミエさん（加茂町）、安井信子さん（大東町）ご両名が本人出席で、健康ご長寿なお姿で受賞されました。



お元氣な姿で受賞される岸本キミエさん

なお、岸本キミエさんは、「週刊新潮」十一月三十日号の「百歳以上が日本一多い島根県の秘密」と題した長寿特集に写真入りで取り上げられました。

受賞された皆様のご長寿を心からお慶び申し上げますとともに、これからも益々のご健康ご健勝を祈念申し上げます。

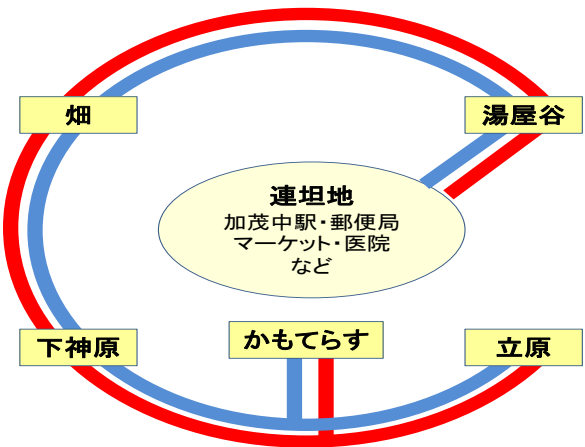
デマンドタクシー開始

雲南市デマンド型乗り合いタクシー（デマンド型だんだんタクシー）が、一月から加茂町内で始まります（実証運行）。

自宅から加茂町連坦地の医院やマーケット、郵便局などへ行くことができます。運転免許証のない方などの交通手段として、通院や買い物等に利用できます。利用料金は一乗車 300 円、ご利用にあたっての年齢制限はありません。ご利用タクシー会社は加茂タクシーとなります。

事前登録や予約が必要なこと、運行日や時間、運行経路、便数に制約があります。加茂総合センター（☎ 49・8600）、本庁政策企画部地域振興課または加茂タクシーへご確認ください。詳しくは十一月常会で配布された資料をご覧ください。

時刻表	かもてらす→Aコープ		
	1 便	かもてらす	10：00 発
	Aコープ→かもてらす		
	2 便	Aコープ	12：00 発



雲南市議会議員

定数等検討会議の設置

最近、全国的な傾向として議員のなり手不足が報道されています。高知県の大川村では住民総会方式の検討、長野県の喬木村では村議会の開催を夜間・休日に変更する案など全国各地で模索が続けられています。

前回の雲南市議会議員選挙では結果的に無投票となりました。様々な理由があるにせよ、無風選挙が常態化する事態は好ましくないとの指摘もあります。

こうしたことから雲南市においても現在の議員定数(二十二名)でいいかどうか、議員報酬も含め再検討することになりました。標記の検討会議が十二月二十二日付で議会内に設置され、来年の十二月末までに方向性を出す予定となっています。

たかつさんの一般質問

中林たかしは十二月定例会の一般質問において一番最初に登壇、質疑を行いました。当日はあいにく小雨模様の寒い一日でしたが、木次中学校の皆さんのほか一般市民の方も入れ替わり立ち代わりで大勢の方に傍聴していただきました。

お越しいただいた皆様に厚く御礼申し上げますとともに今後も開かれた議会となりますよう気持ちを引き締めて頑張つて参ります。

行政サービスの対応

問

土日の閉庁時における住民票の交付依頼などがあった時の対応を伺う。

答（市民環境部長）

住基ネットを使った広域交付、郵送請求、代理人による申請などの方法がある。

問

マイナンバーカードを利用してコンビニでの交付はできないか。

答（市民環境部長）

コンビニ交付サービスは県内の松江・浜田・出雲・安来・益田の各市が実施済み。大田市は来年、江津市は再来年度から実施予定と聞いている。経費が掛かるが住民にもメリットがあり雲南市も導入に向けて協議中である。

問

世帯主と同居せず近隣のアパートに居住している若者夫婦に広報や行政連絡が届かない場合がある。対応を伺う。

答（総務部長）

自治会未加入者には送付していない。公共施設など市内六十カ所に広報を配布して持ち帰られるようにしてある。雲南市のHPからダウンロードも可能、データ放送やフェイスブックでも情報提供している。

木次線対策について

問

木次線の存続、活性化に向け関係機関との協議状況について伺う。

答（政策企画部長）

木次線強化促進協議会で利用促進に向けた活動、出雲の國・斐伊川サミットでトロコ列車の継続運行と車両更新について協議している。

問

間もなく降雪時期を迎える。除雪車の配備状況について伺う。

答（政策企画部長）

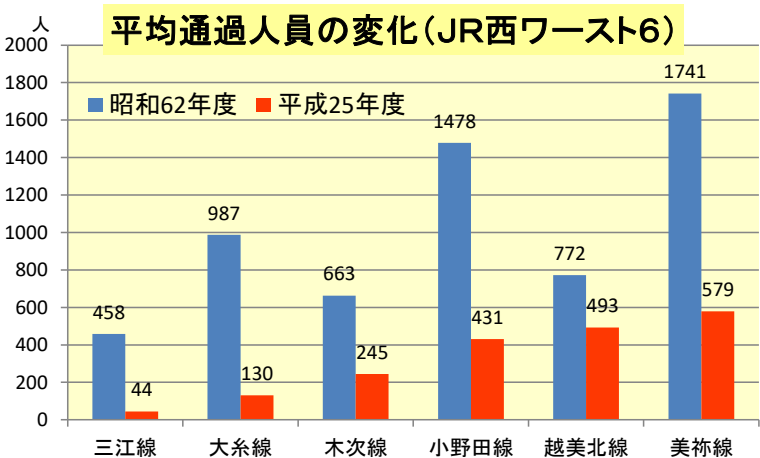
排雪モーターカーが出雲横田駅と木次駅に一両ずつ、計二両配備されている。

問

木次線の経営環境は厳しいが、是非とも存続させなければならぬ。今年が木次線が全通して八十周年と記念すべき年。存続に向け市長の決意を伺う。

答（市長）

木次線は大事なインフラと認識している。廃止としないよう情報発信に努めるとともに（市民の意向を）県や国に対してもしっかりと訴えていく。



上はJR西日本管内の1日1kmあたりの利用者数の変化を表したものの。平成25年度は昭和62年度の比で大幅に減少している。木次線の通過人数は下から3番目、三江線が廃止されると下から2番目となる。

問

三重県や北海道の知事は先頭になって路線存続を訴えている。住民自身の取組も必要だが政治や行政の関与も不可欠と考える。所見を伺う。

答（市長）

島根県もそうあるべきだと全く同感だ。また、列車時刻に合わせた通学バスにも取り組んでいく。存続に向けた地元の強い意志・決意が大事で、JRや県が動く原動力となる。議会、住民、行政が一体となって取り組んでいくことを誓い合いたい。

問

交通政策基本法が平成二十五年に制定された。同法では国、地方公共団体、事業者それぞれの責務を定めている。同法に則りJRと詰めた交渉をすべきだ。

答（市長）

公共交通の整備は、地方自治体もさることながら国の責務でもある。沿線自治体と県が一体となって国に求めているかなければならない。木次線存続に向け、しっかりとした意識をもって取り組まなければならないと改めて決意した。

問

本市がJRの株主となつて協議する方法もある。検討してはどうか。

答（総合政策部長）

JR西日本の発行株数は二億株。経営に影響を与えるような大株主には雲南市はなれない。検討はするが、すぐの株主は考えていない。現在、JR西日本とは様々なチャネルを持つっているので要望、交渉を行っていく。

問

JR西日本も安定株主を求めている。安定株主として求めていることも必要と考えるが再度所見を伺う。

答（政策企画部長）

JR西日本は地域競争という考えで経営を進めていく考え、瑞風の運行も踏まえ自治体として協力出来ることは協力し協議を進めたい。

月日の経つのは早いもので、今年もあと数日を残すのみとなりました。この一年、皆様には大変お世話様になりました。厚くお礼申し上げます。

年明けには「木次線活性化議員連盟（仮称）」を立ち上げる予定です。木次線の活性化に向け議員としても自らも行動を起こさなければならぬと考えています。年末には再び、コウノトリの姿が見られるようになりました。来春もまた吉報を期待したいものです。

それでは、ご家族お揃いでよい正月をお迎えください。



（たかし）